

# Column いきいきさん

第24回 山崎晃子  
(栄養科)



「おいしい」「よかった」と言われる食事・指導を目指していきます。

平成13年に入職し、原田病院栄養科に勤務しております。

栄養士として入職した当初は治療食の調理が中心で、管理

栄養士取得後は、食事・栄養管理の他に栄養指導や調理実習も携わってきました。大量調理は今でも大変ですが、家族の食事同様に丁寧に作ることを、そして栄養指導においては患者さまに寄り添ったわかりやすい指導を心掛けています。最近ではNSTや褥瘡委員の一員として、栄養状態不良の患者さまへの栄養改善に努めています。

これまでに、2回の産休と育児休暇を頂き、家庭だけでなく仕事に対する考え方を見つめ直す時間を過ごせたことに感謝しております。日々慌ただしく過ごしていますが、周りの皆さまの理解と協力、職場環境に感謝し、患者さまに“おいしい” “よかった”と思って頂ける食事・指導を目指していきたいと思います。これからもよろしくお願ひいたします。



## 原田病院外来診察担当表 (平成25年4月1日～)

●診察時間 午前9時～午後12時 午後4時～午後6時

☆当院では待ち時間短縮のため午前中の診察は予約制となっております☆

|    | 月曜日                                  | 火曜日                                   | 水曜日   | 木曜日  | 金曜日   | 土曜日        |
|----|--------------------------------------|---------------------------------------|---|--|---|------------|
| 午前 | 重本                                   | 山下和臣                                  | 重本  | 水入(腎臓内科)                                       | 山下和臣  | 重本         |
|    | 竹内                                   | 西澤                                    | 水入(腎臓内科)  | 西澤   | 山下秀樹  | 山下和臣       |
|    | 山下秀樹                                 | 大下                                    | 小野  | 白木   | 大下  | 白木         |
|    | 内藤                                   | 内藤                                    | 井上  | 井上   | 武本  |            |
|    | 石田                                   | 石田                                    | 石田  | 黒田(血液内科)                                       | 石田  | 佐々木(内科)    |
|    | 藤井                                   | 佐々木                                   | 白木  | 小野   | 小野  | 竹内         |
|    | 浅井                                   | 藤田(泌尿器科)                              | 若本  | 武本   | 藤田(泌尿器科)  | 広大医師(泌尿器科) |
| 午後 | 呼吸器清田(2診)<br>CKD水入(3診)<br>禁煙外来内藤(4診) | 循環器木原(2診)<br>HHD西澤(3診)<br>14:00~15:00 | 循環器木原(2診)<br>CKD水入(3診)<br>HHD西澤(3診)<br>PD西澤(8診) | 呼吸器武本(診)<br>CKD水入(3診)<br>HHD西澤(3診)<br>PD西澤(8診) | 呼吸器清田(2診)<br>CKD水入(3診)<br>HHD西澤(3診)<br>PD西澤(8診) | —          |
|    | 武本                                   | 小野                                    | 小田  | 浅井   | 若本(浅井)  | 小林         |
|    | —                                    | —                                     | 佐々木(4診)   | 14:30~16:30<br>整形外科石田(5診)                      | —   | 武本         |
|    | —                                    | —                                     | 佐々木   | —  | —   | —          |
|    | 放射線科                                 | 石根                                    | 石根  | 石根   | 石根  | 樋口         |
|    | —                                    | —                                     | —   | —  | —   | —          |
|    | —                                    | —                                     | —   | —  | —   | —          |

\*手術・救急・学会などにより担当医が予告なく変更になることがあります。 \*CKD外来(慢性腎臓病外来) 【★★交代制(初診患者のみ)】山下和臣、平井、浅井の3名で交代制

## 一陽会

### 原田病院 院長 重本 篤一郎

〒731-5134 広島市佐伯区海老山町7番10号 TEL 082-923-5161 FAX 082-921-8035

### 一陽会クリニック 院長 碓井 公治

〒731-5133 広島市佐伯区旭園10番3号 TEL 082-924-0033 FAX 082-924-0037

### イーストクリニック 院長 有田 美智子

〒732-0814 広島市南区段原南1丁目3番53号 イーストビル6F TEL 082-506-0123 FAX 082-567-7115

### 横川クリニック 院長 藤田 潔

〒733-0011 広島市西区横川町2丁目7番19号 横川メディカルプラザ3F TEL 082-231-0111 FAX 082-231-0155

### クローバー訪問看護ステーション 所長 大泉 淳

### クローバー居宅介護支援事業所 所長 平田 恵美

### クローバーハヘルパーステーション 所長 甲斐慎一郎

〒731-5133 広島市佐伯区旭園5番58号 TEL 082-925-6222(訪問看護) 082-925-6221(居宅介護)  
082-943-7088(ヘルパーステーション) FAX 082-925-6223(共通)

### ケアレジデンス楽々園 施設長 大脅戸美代子

〒731-5136 広島市佐伯区楽々園3丁目14番3号 TEL 082-943-8686 FAX 082-943-8588

### デイサービス楽々園 所長 西 幸子

〒731-5136 広島市佐伯区楽々園3丁目14番3号 TEL 082-943-8585 FAX 082-943-8588

### あさひメディコ

### グランホームあさひ 施設長 日 高 直 美 デイサービスあさひ 所長 畑 千 恵

〒731-5133 広島市佐伯区旭園9番31号 TEL 082-943-7773(グランホーム)  
082-943-8610(デイサービス) FAX 082-943-8600(共通)

## あとがき

一陽会が運営するサ高住(サービス付き高齢者向け住宅)ケアレジデンス樂々園がオープンしました。高齢者が安心して暮らせる住宅を増やそうと一昨年国が創設したサ高住は、社会で重要な役割を与えられています。◆床面積が25m<sup>2</sup>以上、トイレや浴室、キッチンなどが備わっている。手すりが設置され、床に段差がない等、体が不自由でも安全な構造となっているのが特徴です。安否確認と生活相談のサービス、介護福祉士やホームヘルパーなどの専門スタッフが、少なくとも日中は建物内に常駐し、安否を確認したり、困り事の相談に応じたりします。◆国土交通省と厚生労働省が共同所管となっており、単に高齢者の住まいとしての位置づけだけでなく、全国に40万人以上と言われる特別養護老人ホーム待機者の解消や、在院日数の短縮による退院患者の在宅復帰先としての機能も期待されており、2020年までに60万戸の整備目標が掲げられています。◆国の在宅重視策により「在宅医療」への誘導が強まっています。自宅での療養が難しい患者さまに対し、安心して過ごせる生活の場としてのサ高住を運営することで、一陽会全体として地域包括の一端を担っていかなければと考えています。(N.U.)

## 発行 一陽会広報委員会

〒731-5134 広島市佐伯区海老山町7番10号  
TEL 082-923-5161(代) FAX 082-921-8035  
ホームページ http://www.icy.or.jp E-mail info@icy.or.jp (一陽会 広報室)

ご意見ご質問があれば上記の一陽会広報室までご一報ください。

## 周辺地図



# あさひ

一陽会広報誌

平成25年

7月号

vol.40



題名 「夜明け前」

撮影 地域連携室 梶 浦 拓 也

## 病院訓 「愛・和・誠」

一陽会職員は、病院訓「愛・和・誠」を基本理念として、日々の診療にあたっております。

### 一陽会 基本理念

- 1 愛情ある奉仕の心を以て地域医療に貢献する。
- 2 和衷共同して技術の向上と人格の形成に努める。
- 3 誠心と創意工夫を以てその職責を全うする。

### 患者の権利

- 1 患者は人としての尊厳を維持する権利を有します。  
一陽会職員は患者のプライバシーの保護に努め、患者により選択された医療の提供を行います。
- 2 患者は納得できる医療を受ける権利を有します。  
一陽会は患者に必要な情報提供と説明を行い、インフォームドコンセント(納得診療)を適切に行います。
- 3 患者は医療機関の選択の自由の権利を有します。  
患者にはいかなる治療段階においても他の医師等の意見をもとめる権利(セカンドオピニオン等)があり、一陽会はこれを支援します。

### 原田病院 基本方針

- 1 地域ニーズに応える地域密着型の病院をめざす。  
すなわち、高齢化が進む今日、高齢者の急性期医療を担うという当院の役割を明確にする。その為に、病診・病病連携を密にし、紹介患者の受け入れ、及び回復後の連絡を励行する。
- 2 医療、介護、福祉の関連機関と協力して、在宅医療を支援・推進する。  
また医療の質を高めることにより早期社会復帰、平均在院日数の短縮をはかり、急性期病院を維持する。
- 3 患者中心の医療を目指す。  
すなわち患者の権利、尊厳、利益、希望を尊重した医療を実現するため、相談窓口、検討機関を広く設け、積極的に実施する。

# 新任医師紹介

今年4月から勤務しております4名の新任医師をご紹介します。



循環器内科 竹内智宏  
久留米大学医学部(H10年卒)  
医学博士(H17年)  
日本内科学会認定内科医  
日本循環器学会循環器専門医  
救急医学会専門医  
ICD(植込み型除細動器)認定医  
CRT(心臓再同期療法)認定医

平成25年4月1日から原田病院に入職致しました竹内智宏と申します。

専門は高血圧、不整脈、虚血性心疾患、心不全、脳血管障害などの循環器系疾患です。これらの疾患は、有病率も高く、治療、予防は、重要な問題となっています。更に当院は透析症例が多く、透析症例では心血管疾患の合併も多いため、心血管疾患の早期発見や治療に貢献出来ればと考えています。日常生活において胸痛、動悸、息切れなどの胸部症状を認める場合お気軽に御相談下さい。

また、近隣の先生方からも安心して循環器疾患に関する患者さまをご紹介頂けるよう日々精神、努力を行っていきたいと考えています。今後ともご指導、ご鞭撻の程、何卒宜しくお願ひ申し上げます。



内科 小田まや  
広島大学医学部(H19年卒)  
日本内科学会認定内科医

平成25年4月より原田病院へ着任いたしました小田まやと申します。

広島大学卒業後、広島大学病院、広島総合病院、三次地区医療センターと、主に広島県内の病院で、主に腎疾患・透析療法に携わってまいりました。このたび、原田病院にて勤務させていただけるご縁を大切にし、地域の皆さんにご信頼いただける診療を目指していきたいと思っております。どうぞ、諸先輩先生方をはじめ、皆さま、ご指導・ご鞭撻のほど何卒よろしくお願ひ申し上げます。



内科 武本知子  
広島大学医学部(H19年卒)  
日本内科学会認定内科医  
日本循環器学会循環器専門医  
日本病態栄養学会専門医

平成25年4月より原田病院に勤務しております武本知子です。

呉医療センターで初期研修を終え、吉島病院で1年、広島市民病院で3年、糖尿病を中心とした内分泌・代謝疾患を中心に内科一般的な診療に携わってきました。原田病院では、看護師、薬剤師、管理栄養士など、スタッフの意識も高く、充実した日々を過ごしています。患者さまの声に耳を傾けながら、一緒に取り組んでいく所存です。

近隣の先生方と連携して、質の高い糖尿病診療を行っていければと思います。また一般内科、救急診療等、地域医療としての役割も果たしていきたいと考えております。ご指導ご鞭撻の程、何卒宜しくお願ひ致します。



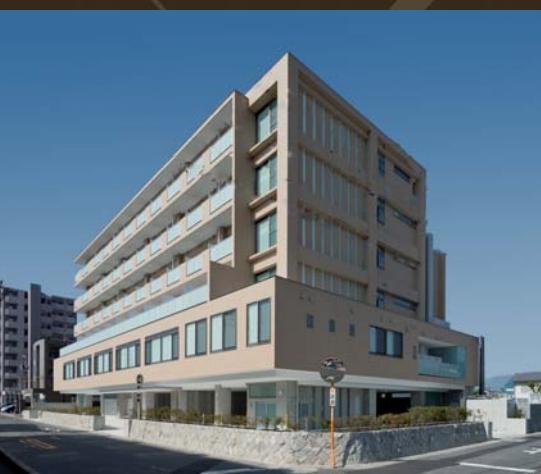
内科 若本晃希  
藤田保健衛生大学(H21年卒)

平成25年4月1日より広島大学病院腎臓内科より原田病院腎臓内科へ入職した若本晃希と申します。医師となってから、大学病院でしか働いたことがなく、他病院での診療は初めてとなり、診療は

もちろんのこと、病院のシステムになれておらず日々学ぶ毎日です。そのため、対応に時間がかかったり、拙く見える点が多々目立つと思いますが、一陽会の諸先生方や近隣の諸先生方に一日でも早く貢献できるよう精いっぱい努力していきたいと思います。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

## ケアレジデンス楽々園完成

### 通所介護施設「デイサービス楽々園」併設



[サービス付き高齢者向け住宅]  
**ケアレジデンス 楽々園**  
一通所介護施設 デイサービス 楽々園

〒731-5136 広島市佐伯区楽々園3丁目14番3号  
[URL] <http://cr.icy.or.jp/rakuraku>  
[ケアレジデンス楽々園に関するお問い合わせは] ☎082-943-8686



## 近隣医療機関のご紹介

## みやけ耳鼻咽喉科アレルギー科 (佐伯区旭園)

「快適で充実した生活のために」今回は佐伯区旭園にある「みやけ耳鼻咽喉科アレルギー科」のご紹介です

当院は平成20年に開業し、今年で5年となりました。耳、鼻、のど全般的な診療をしており、おかげさまで乳児から高齢の方まで幅広い年代の患者さんに来院していただいています。最近はアレルギー性鼻炎、花粉症の方が多く、薬物療法のほかに鼻炎のレーザー治療、体質改善治療(注射による減感作療法)を行っています。

来年からはスギ花粉症に対する新しい体質改善治療(舌下免疫療法)が保険適応となる見込みで、従来の注射療法とあわせて力を入れていきたいと考えています。

原田病院の先生方には、呼吸器疾患、甲状腺疾患などを中心とした患者さんの検査をお願いし、いつも大変お世話になっています。

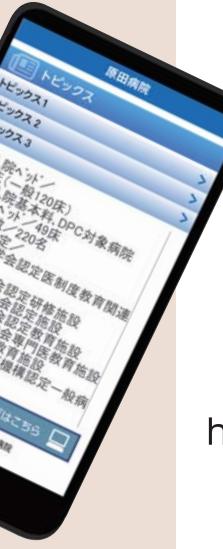
これからも患者さんになるべく分かりやすい説明をするように努め、地域の方々に気軽に受診していただける医院を目指していきたいと思いますので、引き続き宜しくお願ひいたします。

みやけ耳鼻咽喉科アレルギー科  
三宅伸之

- 所在地 〒731-5133 広島市佐伯区旭園2-17
- 診療科目 耳鼻咽喉科、アレルギー科
- 診療時間 午前 9:00~12:30(土曜日は11:30まで)  
午後 15:00~18:00(土曜日は13:00~15:00)
- 休診日 木曜日、日曜日、祝日
- 駐車場 20台



## 原田病院モバイルサイト 開設



携帯電話、スマートフォン専用の原田病院ホームページが出来ました。

外来診療情報、休診・代診のお知らせ等の情報も詳しく掲載していますので、是非お気軽にご利用ください。



<http://harada.plimo.jp/>  
一陽会原田病院 検索  
で検索してください。



# サービス付き高齢者向け住宅 ケアレジデンス楽々園 開設について。 =通所介護施設 デイサービス楽々園 併設=

サービス付き高齢者向け住宅建設準備会議 議長 渡辺和徳

平成25年6月17日、サービス付き高齢者向け住宅「ケアレジデンス楽々園」を開設致しました。併せて、7月1日より通所介護施設「デイサービス楽々園」を開設し、地域の予防介護にも貢献させて頂きたいと思います。

さて、一陽会が運営する各施設で透析をされる患者さまは約690名（平均年齢66.2歳）、原田病院（病床数120床）における昨年度の1日平均の入院患者さまは110名、入院された患者さまの平均在院日数は15.8日になります。急性期医療を担う原田病院において、透析患者さまの入院の長期化は、入院を待たれる患者さまへの医療提供の機会を逃しかねないものであり、当院としても長年憂慮して参りました。また、患者さまの高齢化にともない、「医療」にも増して「介護」への依存が高くなり、その診療体制も根底から考え直す必要がありました。

平成18年1月、高齢で通院困難な透析患者さまの住居を近隣地に確保し、通院の不便とリスクを少しでも解消することを考え、グループ企業である（株）あさひメディコにより、旧原田病院跡地に介護付有料老人ホーム「グランホームあさひ」、通所介護施設「デイサービスあさひ」を開設致しました。隣接する透析専門クリニックである一陽会クリニックへの通院が容易であり、また当ホーム内には透析看護を熟知した元一陽会の職員を多数配置し、当初目的は達成できたと思います。ただ、一陽会クリニックでの透析患者さまの受け入れにも限界があるため、一般の方の入居もお受けしましたが、100名を超える入居待ちのうち、透析をされている方が半数近くにのぼり、ホーム内の透析患者さまの割合は徐々に上がっています。そして、むしろ一般の方の居室に不足を感じるようになったことや、医療法人が運営する高齢者施設への期待の声を多数頂いたことが「ケアレジデンス楽々園」建設の後押しとなりました。

高齢化が進む中、安心して過ごせる生活の場で豊かな老後を提供でき、それが社会ニーズとなっていることも事実であり、また高齢者への医療提供から介護を切り離すことはできず、在宅医療への展開が、一陽会の是訓でもある「地域医療への貢献」につながると考えます。

グランホームあさひ運営への間接的な関与や、人事交流を含めたノウハウの伝達により、このケアレジデンス楽々園は円滑なスタートを切れたと思っております。「一人ひとりに、最高のホスピタリティを。」をキャッチコピーに、良い意味での差別化を図るべく高級感あふれる設計を行い、また心のこもったサービスで、入居された方が自分らしく老いゆくための豊かな日々を過ごして頂き、暗くなりがちな高齢者住宅で、明るく生活して頂ける「終の棲家」にして参りたいと思います。

一陽会が運営する、クローバー訪問看護ステーション、クローバー居宅介護支援事業所、クローバーヘルパーステーションが連携とともに、原田病院をはじめとした、信頼する協力医療機関の先生方との連携も密にし、安心の医療・介護サービスを全力で提供して参る所存です。



なお、デイサービス楽々園では、理学療法士が常駐し、専門的なケアもできる体制をとり、介護予防にも力を注いでまいりたいと思います。

先生方のお知恵を拝借しながら事業運営を行っていく所存でございます。これからも一陽会各施設と同様、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。





# 第58回(社)日本透析医学会学術集会

日時：平成25年6月21日（金）・22日（土）・23日（日）  
会場：福岡国際会議場 他



福岡で開催された第58回(社)日本透析医学会学術集会に一陽会から  
19演題の研究発表をいたしました。

## 演題：教育入院を実施しないHHD（在宅血液透析）導入への取り組み ～D-FASを利用した患者負担の軽減～

医療法人一陽会 一陽会クリニック 看護部<sup>1)</sup>、  
透析情報科<sup>2)</sup>、医局<sup>3)</sup>

○佐々木由奈<sup>1)</sup>、中段沙緒里<sup>1)</sup>、木谷博之<sup>1)</sup>、稻本健司<sup>1)</sup>、  
濱野親子<sup>1)</sup>、森田直美<sup>1)</sup>、廣兼美佐子<sup>1)</sup>、藤川 博<sup>1)</sup>、  
福田剛三<sup>2)</sup>、本丸忠生<sup>2)</sup>、丹治知恵<sup>3)</sup>、碓井公治<sup>3)</sup>

【はじめに】当院では今年度よりHHDへの取り組みを開始し、教育入院を実施しない導入を試みたので報告する。

【方法】日機装社製透析装置に搭載されている、プライミングや脱血・返血を自動で行うD-FAS(Dialysis-Full Assist System)を利用した指導を行う。

【結果】HHD導入まで9ヶ月(訓練開始から2ヶ月間は週1回訓練、その後週4回訓練)を要した。患者は自分で多くの操作をするよりはD-FASが良いと感じていた。

【考察】D-FASを用いた指導は、患者の操作選択幅を広げより患者背景に合わせたHHDの実現の一役を担うと考える。指導期間は綿密なスケジュール作成等により短縮が可能である。

【結論】D-FAS利用による繁雑な脱血・返血操作の簡素化により、患者の操作負担を軽減した指導が可能となった。



### 【考察-①】

D-FASを用いた指導は、患者の操作を選択する幅を広げ、より患者背景に合わせたHHDの実現の一役を担うと考える。

また、HHD導入後には介助者のサポートが必要な緊急時の対応などの場合にも、スイッチ一つで対応が可能な事から、本人だけでなく、介助者の負担の軽減にもつながると考える。

### 演題一覧

\*学会・委員会企画11、男女共同参画委員会企画  
「女性医師の質の担保～現場からの意見～」

○小野京香

\*血液透析患者においてFGF-23は低値ほど良いのか？

○水入苑生(みずいりそのお)、西澤欣子、中園博司、山下和臣、碓井公治、丹治知恵、本丸忠生、藤川 博、福田剛三、珍部三恵子、宮本文香、久保井範幸、重本憲一郎

\*血液透析患者での血清ヘリコバクターオリ抗体価の検討

○山下和臣(やましたかずおみ)、水入苑生、西澤欣子、山下秀樹、小野京香、浅井真理子、白木伸明、碓井公治、丹治知恵、重本憲一郎、原田 知

\*血液透析患者におけるβ2マイクログロブリン(β2MG)と生命予後の検討

○西澤欣子(にしづわよしこ)、浅井真理子、小野京香、白木伸明、山下哲正、中園博司、山下和臣、水入苑生、重本憲一郎、丹治知恵、碓井公治

\*透析患者におけるCAC score(CACS)と関連因子の検討

○西澤欣子(にしづわよしこ)、石根正博、水入苑生、福田剛三、水野健治、久保井範幸、本丸忠生、重本憲一郎

\*栄養状態指標が透析患者の予後に及ぼす影響

○丹治知恵(たんじちえ)、本丸忠生、福田剛三、碓井公治、重本憲一郎、原田 知

\*血液透析患者におけるC.E.R.A隔週投与の腎性貧血に対する効果の検討

○中園博司(なかぞのひろし)、平井隆之、浅井真理子、山下哲正、白木伸明、小野京香、山下秀樹、西澤欣子、山下和臣、重本憲一郎、水入苑生、原田 知

\*PTA施行翌日にシャント閉塞を来たし再PTA 施行した3例

○山下哲正(やましたてつまさ)、白木伸明、浅井真理子、山下秀樹、重本憲一郎、水入苑生

\*危険予知トレーニングを使用したリスクマネジメントの取り組み

○森田直美(もりたなおみ)、廣兼美佐子、藤川 博、丹治知恵、碓井公治

\*透析業務未経験者が行う患者指導に求められる課題の検討

○坂本実奈(さかもとみな)、齋藤智子、新田千恵美、吉田美幸、水入苑生、重本憲一郎、原田 知

\*栄養状態改善の取り組み～食事内容を常食に変える試みから

○小林真由子(おだまゆこ)、稻本健一、森田直美、廣兼美佐子、藤川 博、三上夕子、甲斐慎一郎、碓井公治

\*当院におけるバスキュラーアクセス管理の試み～VA管理チームを発足させてから

○加島みゆき(かじまみゆき)、中村晴子、岡本真奈、烏田一義、中村直正、花岡澄子、新田千恵美、吉田美幸、平井隆之、有田美智子、頼岡徳在

\*透析患者への栄養管理の試み～栄養管理チームを発足してから

○木村優之(きむらまさゆき)、河田健一、丸山加奈恵、烏田一義、中村直正、花岡澄子、新田千恵美、吉田美幸、有田美智子、頼岡徳在

\*新聞を利用した患者の食事に対する意識調査の取り組み

○高森佳代(たかもりかよ)、多川和宏、廣兼美佐子、森田直美、藤川 博、新田千恵美、吉田美幸、碓井公治

\*前希釈オンラインHDFにおける至適施行条件の検討

○中村健一(なかむらけんいち)、木谷博之、田中秀人、栗栖啓子、北森初男、宮本弘美、新田千恵美、吉田美幸、末岡茂雄、中園博司、水入苑生、碓井公治、重本憲一郎、原田 知

\*蛍光染色法(バイオプローラ)によるプライミング洗浄量の検証

○昌木秀介(まさきしゅうすけ)、稻本健司、森田直美、廣兼美佐子、福田剛三、藤川 博、本丸忠生、新田千恵美、吉田美幸、丹治知恵、碓井公治

\*超音波断層装置を用いたVascular Access管理

○柳井三奈(やないみな)、小野亮一、錦郡 司、河野利恵、加藤曜子、藤田 潔

\*腎代替療法選択支援活動の評価

○山内恵子(やまうちけいこ)、今田美紀、加澤佳奈、中村令子、本多祥子、飯村久二子、新田千恵美、吉田美幸、西澤欣子、水入苑生、重本憲一郎、原田 知